

事業団体名：漂着DECO(プレシャスプラスチック瀬戸内)

プラスチックごみのアップサイクルを学ぶ！ワークショップ

「浜辺に流れついたプラスチックごみを暮らしを彩る資源に変えちゃおう！

～海と日本PROJECT～」vol.1を開催しました！

2022年7月23日【中島ゆうきの里】

漂着DECO(プレシャスプラスチック瀬戸内)は、7月23日に海洋ごみや廃棄プラスチックへの理解を深めることを目的として、プラスチックごみをアップサイクルして新たな資源を作り上げる活動(プレシャスプラスチック)のワークショップ「浜辺に流れついたプラスチックごみを暮らしを彩る資源に変えちゃおう！～海と日本PROJECT～」を開催いたしました。



イベント概要

- ・開催概要 アップサイクルで新たな資源を作り上げる活動(プレシャスプラスチック)の紹介、ビーチクリーンとワークショップなど
- ・日程 2022年7月23日(土)12時～16時30分
- ・開催場所 中島ゆうきの里 松山市神浦3025
- ・参加人数 6名

まずは、プラスチックの勉強会から

はじめに、瀬戸内沿岸に漂着する牡蠣のプラスチックごみの話と中島みかんキャリーなどを資源として利用する話をしました。また、利用するプラスチックの種類や特性の話を30分ほど、事前に参加者に配った資料を見ながら解説しました。



ビーチクリーンをしながらワークショップで使う材料を拾う

勉強会の後は40分ほどかけて、資源として使用するために牡蠣のプラスチックパイプとペットボトルを回収しました。ペットボトルは、キャップとラベルに分類して、キャップとラベルは資源として使ってみることにしました。回収した漂着物は、洗浄後乾燥させました。



拾った漂着ゴミを使ってワークショップ

当日射出成型機の調子が悪かったため、急遽ワークショップの内容を変更し、ブローチ作りとフリッジマグネット作りのワークショップを行いました。それぞれの参加者は自分が拾った漂着ごみをシュレッターにかけて粉碎し、プレスマシンをつかってプラスチックのシートを新たに作り上げました。作成した、ブローチとマグネットは各自持ち帰りました。



参加した人の声

・プラスチックのことあまり知らないことが分かりました。プラスチックの利用おもしろかったです

(60代女性)



<団体概要>

団体名称 : 漂着DECO(プレシャスプラスチック瀬戸内)

URL : <https://hyotyakubutu.thebase.in/>

活動内容 : プラスチックごみのアップサイクル活動